

## 合併のお知らせ

この度、はばたき信用組合、三條信用組合、新潟鉄道信用組合は、2023年11月20日を目処に、対等の立場で合併することで基本合意いたしました。

地域信組であるはばたき信用組合と三條信用組合、職域信組である新潟鉄道信用組合は創立以来、それぞれの営業基盤において、信用組合の理念である相互扶助の精神に基づき、地域の中小企業や小規模事業者、個人の皆様方への円滑な資金供給、金融サービスの提供に真摯に取り組み、地元経済の発展に努め、貢献してまいりました。

こうした共通の使命を持つ三つの信用組合が、各々の営業基盤と経営資源とを統合することで地域金融機関としての総合力を一層強化し、地域における中小企業や小規模事業者、地域の皆様方への円滑な資金供給や、積極的なコンサルティング機能の発揮、組合員をはじめとする地域のお客様のより多様かつ高度な金融ニーズにお応えすべく、合併に向け協議してまいりました。

この合併により、三信組が有する経営資源を有効に活用し、地域への円滑な資金供給と質の高い金融サービスの提供に取り組むことによって、地域経済の活性化や個人の皆様方の生活向上に貢献できるものと考えております。

今後は、順次所定の手続きを進め、より皆様に信頼されご期待にそえる信用組合を目指し、役職員一丸となって努力していく所存でございますので、何卒、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、詳しくは、「合併趣意書」および「合併の基本事項」をご高覧いただきますようお願い申し上げます。

2023年 4月14日

はばたき信用組合	理事長	宇野	勝雄
三條信用組合	理事長	佐藤	一正
新潟鉄道信用組合	理事長	小林	義孝

## 合 併 趣 意 書

この度、はばたき信用組合、三條信用組合、新潟鉄道信用組合は、2023年11月20日を目処に、対等の立場で合併することで基本的に合意し、本日三信組の間で「合併基本協定書」を締結致しました。

はばたき信用組合と三條信用組合においては、多様化・高度化するお客様の要望に的確にお応えし、より一層地域のお客様に信頼され、真に地域に必要とされる金融機関となるべく、2022年6月7日に合併契約を締結し、2023年11月20日の合併に向けて、議論を重ねて参りました。

一方、新潟県一円（山形県の一部含む）に跨るJR新潟グループ職員を主な事業基盤とする新潟鉄道信用組合においては、今後も持続的に組合員の皆様に対して金融サービスを提供していくためには、より強固な経営基盤が必要と考えておりました。

こうした中、はばたき信用組合と三條信用組合の合併に新潟鉄道信用組合が合流することで経営基盤がより強固となり、新潟鉄道信用組合の組合員に対しても、これまで以上に質の高い金融サービスが提供できるものと考えております。

この三信組の合併により、新潟県内有数の規模の信用組合が誕生することとなりますが、相互扶助という基本精神は不変であり、地域経済のため、また、個人や事業者等のお客様のために引き続き寄り添い、きめ細かく貢献していく姿勢に何ら変わるところはございません。

今後は、三信組において合併に向けた実務的な協議をさらに重ね、組合員やお取引先をはじめ、関係各方面からのご協力を頂きながら、上記の時期を目途に合併が実現できるよう、役職員一同一丸となって努力して参る所存でございます。

何卒、本合併の趣旨をご理解いただき、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2023年 4月14日

はばたき 信用組合  
理事長 宇野 勝雄

三 條 信用組合  
理事長 佐藤 一正

新潟鉄道 信用組合  
理事長 小林 義孝

## 合併の基本事項

1. 合併期日 2023年11月20日を目途とする。
2. 合併の方法 合併は対等合併とし、合併の手続き上「はばたき信用組合」を存続信用組合とする。
3. 名称 存続組合である「はばたき信用組合」とする。
4. 合併後の本店・本部 現はばたき信用組合本店・本部に設置する。
5. 合併後の役員 2023年6月開催予定の通常総代会までに協議のうえ決定する。
6. その他合併主要事項
  - (1) 合併信用組合の出資 合併比率は対等とし、出資1口の金額は500円とする。
  - (2) 合併の効力 2023年6月開催予定の通常総代会の決議および関東財務局長の認可を条件とする。
  - (3) 合併準備委員会 合併に関する細目を協議するため、合併準備委員会を設立する。

### 7. 各信用組合の概要（計数については、2022年3月末現在）

組 合 名	はばたき信用組合	三條信用組合	新潟鉄道信用組合	合 計
本店所在地	新潟市江南区旭2丁目1番2号	三条市興野3丁目11番12号	新潟市中央区弁天3丁目1番3号	
本部所在地	同 上	同 上	同 上	
理 事 長	宇野勝雄	佐藤一正	小林義孝	
預 金 (未残)	110,059百万円	49,766百万円	6,856百万円	166,681百万円
貸出金 (未残)	62,778百万円	20,498百万円	2,218百万円	85,494百万円
預貸率 (未残)	57.04%	41.18%	32.35%	51.29%
自己資本比率	11.59%	7.29%	14.99%	10.46%
普通出資金	1,365百万円	712百万円	180百万円	2,257百万円
優先出資金	1,490百万円	—	—	1,490百万円
組 合 員 数	34,260名	12,595名	4,097名	50,952名
総 代 定 数	140名	110名	110名	360名
役 職 員 数	117名	64名	8名	189名
店 舗 数	11店舗	7店舗	1店舗	19店舗

※「合計」は、2022年3月末日時点の各信用組合の計数を単純合算したものです。

### 8. 沿 革

\*はばたき信用組合

#### 【新栄信用組合】

- ・昭和28年 9月 亀田信用組合として設立
- ・昭和45年10月 新栄信用組合に改称
- ・昭和63年 4月 新潟産業信用組合と合併
- ・平成30年11月 東堀支店を馬越支店に店舗統合し店舗数を7店舗とする

#### 【太陽信用組合】

- ・昭和29年 7月 水原郷信用組合として設立
- ・昭和50年 4月 太陽信用組合に改称

#### 【五泉信用組合】

- ・昭和36年11月 五泉信用組合として設立

#### 【さくらの街信用組合】

- ・平成26年7月 五泉信用組合と太陽信用組合が対等合併、さくらの街信用組合として設立
- ・平成30年11月 笹神支店を本店、本町支店を五泉支店に店舗統合し店舗数を6店舗とする

#### 【はばたき信用組合】

- ・令和1年12月 新栄信用組合とさくらの街信用組合が対等合併、はばたき信用組合として設立
- ・令和2年11月 上町支店を本店に店舗統合し、店舗数を12店舗とする
- ・令和4年 2月 松浜支店を大形支店に店舗統合し店舗数を11店舗とする  
現在に至る

#### \*三條信用組合

- ・昭和27年 8月 三條信用協同組合として設立
- ・昭和32年 9月 三條信用組合に改称
- ・昭和58年 8月 中央支店開設、7店舗とする  
現在に至る

#### \*新潟鉄道信用組合

- ・昭和41年 5月 新潟地方国鉄信用組合として設立
- ・昭和59年 6月 新潟国鉄信用組合に改称
- ・昭和62年10月 新潟鉄道信用組合に改称  
現在に至る

### 9. 営業区域

#### (1) はばたき信用組合（令和4年3月末現在）

新潟市（江南区・中央区・東区・北区・秋葉区・西区）、阿賀野市、五泉市、新発田市のうち旧豊浦町、東蒲原郡阿賀町、北蒲原郡聖籠町

#### (2) 三條信用組合（令和4年3月末現在）

三条市、見附市、燕市、加茂市、長岡市（旧栃尾市及び旧南蒲原郡中之島町に属する地区）

#### (3) 新潟鉄道信用組合（令和4年3月末現在）

新潟県一円、山形県のうち酒田市（但し、旧酒田市に限る）、鶴岡市（但し、旧鶴岡市及び旧西田川郡温海町に限る）、東田川郡庄内町（但し、旧東田川郡余目町に限る）

以上